

分子遺伝学、遺伝子検査学 I・II

分子遺伝学【前期】金 1 2 年

遺伝子検査学 I【後期】金 2 2 年

遺伝子検査学 II【前期】月 1-2 / 月 6-7 4 年

片岡 佳子、片岡 正俊、櫻井 明子、安友 康二、駒 貴明

ここで紹介された資料は**蔵本 2 階授業サポートナビコーナーにあります**ので、どうぞご利用ください。

(同じ本が 3 冊以上ある場合は★の場所にもありますので、そちらもご覧ください)

図書

授業のテーマをつかみ事前学習や復習を効率的に進めるために、これらの図書を読むことから始めましょう。

□ 細胞の分子生物学 第 6 版 / 監訳 中村桂子・松原謙一 Newton Press 2017

→ 「ゲノムを持つ細胞に関する生物学が見事に整理された(まえがきより)」分子生物学の教科書。近年の新しい研究手法の開発・改善によって得られたたくさんの知見が豊富な図表とともに盛り込まれている。生物の基本を深く理解するために必須の教科書。

【463||Sa】

□ 分子生物学超図解ノート : 重要ワードで一気にわかる 改訂版 / 田村隆明 著 羊土社 2011

→ 分子生物学のキーワードごとに、見開き 2 ページでその重要ポイントと基本情報+トピックスが盛り込まれている。キーワードを順番にたどっていくと、細胞の全体のしくみが見えてくるように書かれている。効率よい学習により、初学者の理解を助けるためのサブテキスト。

【464.1||Ta】

★ 蔵本 2 階生命科学閲覧室にもあります

□ カラー図解基礎から疾患までわかる遺伝学 / 新川詔夫、吉浦孝一郎 監訳 メディカル・サイエンス・インターナショナル 2009

→ 遺伝医学の概説書であるが、ヒトを含めた生物の基本的な知識を広くカバーしており、また、遺伝子変異がどのように疾患に結びつくのかについても、症例を含む図表を見ながら詳しく学ぶことができる。

【467||Pa】

★ 蔵本 2 階生命科学閲覧室にもあります

□ NGS アプリケーション : 今すぐ始める!メタゲノム解析実験プロトコル : ヒト常在細菌叢から環境メタゲノムまでサンプル調製と解析のコツ (実験医学:別冊) / 服部正平 編 羊土社 2016

→ 次世代シーケンサーによるメタゲノム解析のマニュアル書。サンプルの前処理からシーケンスまで詳細に手順が説明されている。

【467.3||Ng】

□ もっとよくわかる!エピジェネティクス : 環境に応じて細胞の個性を生むプログラム (実験医学:別冊) / 鶴木元春、佐々木裕之 著 羊土社 2020-

→ とっつきにくいエピジェネティクスについて、豊富なわかりやすい図を入れて解説している書。

【467.3||Un】

【電子書籍 <https://kinoden.kinokuniya.co.jp/tokushima-u/bookdetail/p/KP00034780/>】

□ **医歯薬系学生のためのビジュアル生化学・分子生物学 改訂第3版 / 大塚吉兵衛、安孫子宣光 共著
日本医事新報社 2008**

→ 分子生物学で学ぶ対象は分子レベルであり、分子の構造と分子どうしの相互作用をイメージすることが生命現象を理解することにつながる。本書ではビジュアルなイラストが多く盛り込まれ、初学者が、生命現象のしくみについてイメージを膨らませ、楽しみながら学べるようになっている。初学者の理解を助けるためのサブテキスト。

【491.4||Ot】

★ 蔵本2階生命科学閲覧室にもあります

□ **よくわかるゲノム医学 : ヒトゲノムの基本から個別化医療まで 改訂第2版 / 服部成介、水島一、菅野純子 著、羊土社 2016年**

→ ヒトゲノムを中心としたゲノム医学を初めて学ぶ人のために書かれたテキスト。ゲノム医学を理解するための基礎的な章と、ゲノム医学の応用編（遺伝子編集やRNAを対象とした核酸創薬、個人に合わせた予防医学など）から構成されている。

【491.69||Ha】

★ 蔵本2階生命科学閲覧室にもあります

□ **遺伝子・染色体検査技術教本 (JAMT 技術教本シリーズ) / 日本臨床衛生検査技師会 監修 丸善出版 2019**

→ 遺伝子検査、染色体検査に必要な情報が網羅されていて、卒前教育で身につけておくべきことを効率よく学習できるテキスト。遺伝子異常や染色体異常を伴う様々な疾患を例として取り上げ、カラーの図や写真を豊富に入れて詳しく具体的に説明されている。

【491.69||Id】

★ 蔵本2階生命科学閲覧室にもあります

□ **遺伝子検査技術 : 遺伝子分析科学認定士テキスト 日本臨床検査同学院 編 改訂第3版 / 日本遺伝子分析科学同学院編集 宇宙堂八木書店 2023**

→ 遺伝子検査に必要な医学的知識と遺伝子検査技術に関する基礎的な知識・手技に関するテキスト。検査専攻2年次の「遺伝子検査学Ⅰ」の講義の際に受験を進めている“遺伝子分析科学認定士（初級）”認定試験の筆記試験はこのテキストから出題される。

【491.69||Id】

★ 蔵本2階生命科学閲覧室にもあります

□ **コアカリ準拠臨床遺伝学テキストノート : ゲノム医療に必要な考え方を身につける 改訂第2版 / 日本人類遺伝学会 編集 診断と治療社 2024年**

→ 「保険診療体系のなかにもゲノム医療が組み入れられるようになったいま、医療系学生にとって臨床に即した遺伝医学を学んでおくことが必要である」（序文より）。遺伝医学のコアカリキュラムに沿った構成に、ケーススタディーを取り入れたり、別冊付録に用語集やコミックが用意されていて、読みやすい。ゲノム医療に必要な考え方を身につけたい方にお勧めです。

【491.69||Ko】

□ **一目でわかる 臨床遺伝学 第2版 / 古関明彦 監訳 メディカル・サイエンス・インターナショナル 2014**

→ 臨床遺伝医学の入門書。遺伝子解析技術の進歩によって、医療と遺伝学との関連はますます深くなっており、遺伝子の関わる疾患の診断や治療においては、臨床遺伝学の基礎の理解が重要です。

【491.69||Pr】

★ 蔵本2階生命科学閲覧室にもあります

□ **遺伝子検査学（標準臨床検査学） 第1版 / 宮地勇人、横田浩充 編 医学書院 2013**

→ 遺伝子検査の基礎技術と応用について、国家試験出題基準の内容をすべて網羅した教科書。応用編には具体的な事例を用いた演習が含まれていて、学習成果の確認もできる。 検査専攻の教科書として使用。

【492.1||Hy】

★ 蔵本2階生命科学閲覧室にもあります

□ **遺伝子関連・染色体検査学 第3版（最新臨床検査学講座） / 東田修二 編 医歯薬出版 2024**

→ 遺伝子検査の基礎技術と応用について、国家試験出題内容を網羅した書。染色体検査の基礎知識と検査法に関する説明がわかりやすい。

【492.1||Sa】

□ **消化器系の疾患と薬/感染症と薬/悪性腫瘍と薬 第2版（薬がみえる:vol. 3） / MEDIC MEDIA 2023**

→ 感染症の治療薬についての記述に加えて、様々な抗がん薬についても、大まかな分類と薬剤ごとの特徴が、豊富な画像やマンガを用いて解説されている。次々に新薬が開発されている分子標的治療薬についても、イラストを多用して、作用機序がわかりやすく解説されている。

【499.1||Ku||3】
